

便潜血検査

出血しやすい大腸がん

毎年受けることが大事

便潜血検査は、便の表面をこすって採取する検査。便に混じった極微量の出血を見つけて、大腸がんやがん化する恐れのある大腸ポリープがある可能性を、より分けけるスクリーニング検査法。簡単な方法のため大腸がん検診に広く用いられています。高齢化や食の欧米化により、年々かかる人が増えている大腸がんとの検診について、前橋中南町、家崎医院院長の家崎桂吾さんに尋ねました。



家崎医院
家崎 桂吾さん

痔やポリープ
生理時でも陽性に

大腸がんの出血しやすい性質を利用して、便に混じった血液からがんの疑いを調べるのが便潜血検査です。国内で行われている検査法は免疫学的潜血反応(免疫法)と呼ばれ、免疫反応を利用してヒトのヘモグロビンだけを検出するため、肉類などの食事や貧血の薬(鉄剤)の影響を受けません。

身近な病気

がん

の受診者は0.2%
0.5%程
が見つかる
が、すなわち大腸がん

検診編③

連続2日間の検査をした受診者の中で、陽性反応が出るのは5~10%、その陽性者の2~3%に大腸がんが発見されます。

度です。精密検査(大腸内視鏡検査)の結果、異常を指摘できないことがほとんどで、次に大腸ポリープや痔によるものがあります。また生理時の便でも陽性になることがあります。

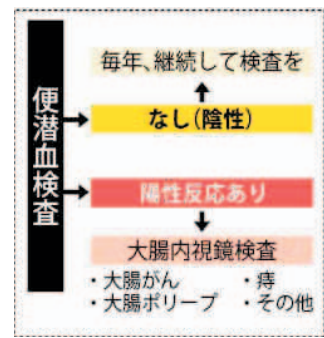
良性でも1センチ以上は
切除しがんを予防

直腸がんは結腸がんを合わせた大腸がんの罹患率は、男女とも年々増加しています。一生のうちで、男性の20人に1人、女性は30人に1人が罹患すると言われていますが、進行が比較的ゆっくりながんなので、便潜

血検査で症状が出る前に発見することができません。高齢になるほどがんの確率が高くなるので、陽性反応が出たら大腸内視鏡検査で詳しく調べるのが大切です。

必ずしも「陽性＝大腸がん」

ではないので陽性になって過度に心配する必要はありませんが、便潜血検査で見つかる大腸がんの約6割は早期で、その半数は大腸内視鏡による切除が可能です。また、良性のポリープでも、直径が2センチを超えるとがん化、1センチで可能性が高くなる



とされており、切除しておくことが予防につながります。また、大腸がんの診断で「進行がん」と言われても、全てが治りにくいわけではありませ

ん。リンパ節転移がなければ5年生存率は95%以上です。大腸がんには平坦な形で出血しにくいタイプもあります。一度の便潜血検査では早期がんの約25%、進行がんでも約15%が見逃されるといわれています。

しかし翌年見つかる可能性は高いので、継続して毎年検診を受けることがとても大切です。さらに、便潜血検査が陽性でなくても、排便異常(腹痛、下血、下痢と便秘を繰り返すなど)の症状があれば、放置せず早めに医療機関を受診してください。

「痔があるので出血している」と思い込んで放置し、がんが進行してしまったケースもあります。大腸の病気の最も確実な診断方法は、大腸内視鏡検査です。特に家族歴などがあり、大腸がんの心配な方は50歳を過ぎたら、一度は大腸内視鏡検査を受け、ご自分の大腸の状態を知

ティールタイム

待望の赤ちゃんを授かった35歳の時、子宮頸がんが見つかった。胎児を守る手段を講じたが、最終的には子宮を摘出せざるを得なかった。

心が折れてしまった。「子供を助けて自分が死ねばよかった」と泣き暮らす中、感染症などの合併症を起こし、6年間で14回の手術をした。そんな私が立ち直れたのは、同じ病棟に末期の



早期発見で「百寿がん」に

タレント 向井 亜紀さん

子宮体がんて入院していた若いママの存在。彼女は数カ月後に控えていた息子の小学校の入学式に出たいと切望し、それを果たす

合うようになったら、体も次第に変わっていった。がんて2人に1人が亡くなる時代。ならば100歳を過ぎる

現させるため辛い治療に耐え、そして5月上旬に亡くなった。彼女を支えたのは、息子への強い愛情。傍らで見ながら「自分も退院するぞ」と病氣と向き

まで早期発見・早期治療を繰り返して、「百寿がん」で死ねないだろうか。

知っ得! 薬学

風邪を引いた時、病院に行きますか? 風邪薬を買いに行きますか? 薬には、医師が処方する「医療用医薬品」と、薬局や薬店などで購入して自分の判断で使用する「一般用医薬品」があります。一般用医薬品は、病院に行

くほどではない体の不調や健康の維持・増進などに使います。症状が重い時、高熱や激しい腹痛、患部が広範囲である場合などに一般用医薬品を使用することは適切ではありません。また、2歳未満の乳幼児への一般用かぜ薬の使用

は、やむを得ない時のみとし、医師の診療を受けさせることを優先してください。一般用医薬品は、添付の説明書を必ず読んで正しく使い、一定期間使用しても症状が改善しない場合は医療機関を受診しましょう。群馬大附属病院薬剤部主任 原 佳津行

一般財団法人 **東日本労働衛生センター**
北関東支部 総合健診センター

日帰り人間ドック 各種健康診断 保険診療 作業環境測定
胃内視鏡検査(経口・経鼻) マンモグラフィ ヘリカルCT

群馬県伊勢崎市戸谷塚町629-1
☎0270-32-7575